



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 東京汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9193 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長兼経理部長

(氏名) 伊藤 英津生

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,980	△7.0	40	△81.4	156	△53.9	69	△58.9
23年3月期第1四半期	3,203	1.7	220	48.5	338	30.8	169	12.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 79百万円 (△33.0%) 23年3月期第1四半期 118百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.98	—
23年3月期第1四半期	17.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,922	16,008	69.7
23年3月期	21,799	16,130	70.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,279百万円 23年3月期 15,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、状況が不透明であることから、現時点において予想値を算出することは困難であると判断し、未定としております。なお、当該理由等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	10,010,000 株	23年3月期	10,010,000 株
24年3月期1Q	52,648 株	23年3月期	52,648 株
24年3月期1Q	9,957,352 株	23年3月期1Q	9,960,132 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)のわが国経済は、東日本大震災による直接的被害や電力不足問題の深刻化により、企業活動が落ち込んだこと、また個人消費低迷の影響から厳しい状況が続きました。

こうした環境下、当社グループの業況は、主力の曳船事業は増収となったものの、旅客船事業、売店・食堂事業が震災の影響を受けて売上高が大きく減少し、グループ全体の売上高は2,980百万円(前年同期比7.0%減)となりました。利益面では、営業利益が40百万円(前年同期比81.4%減)、経常利益が156百万円(前年同期比53.9%減)、四半期純利益は69百万円(前年同期比58.9%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業セグメントは、震災の影響により曳船作業対象船舶の東京湾への入出港数が自動車専用船、原油タンカー、鉱石船を中心に減少したものの、湾内における危険物船を対象とした警戒作業が増加し、海難事故救助などの特別作業が加わって増収となりました。この結果、売上高は2,322百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

一方利益面では、燃料油価格の上昇を主因に売上原価が増加したことにより、営業利益は118百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

旅客船事業

旅客船事業は、カーフェリー部門においては、震災の影響で行楽・観光に対する自粛ムードが続き、車両、旅客ともに大幅な減少となりました。

横浜港の観光船部門は、予約のキャンセルが相次ぎ、当四半期はほぼ当日客だけの売上にとどまりました。また、交通船部門も作業数が減少し、両部門併せての売上高は25.3%の減少となりました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は480百万円(前年同期比28.6%減)となり67百万円の営業損失(前年同期は37百万円の営業利益)となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業セグメントは、震災以降の自粛ムードが依然大きく影響し、特に団体観光客を主体とする食堂部門の売上が低迷し、全体の売上高は178百万円(前年同期比33.8%減)となりました。利益面では、各部門ともコスト削減を図ったものの、上記売上減をカバーできず9百万円の営業損失(前年同期は14百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、122百万円増加し21,922百万円となりました。これは主に現金及び預金が271百万円増加し、その他流動資産が153百万円増加しましたが、船舶の減価償却が進んだことで215百万円減少し、投資有価証券の評価差額や持分法適用会社からの受取配当金の内部取引消去などにより、投資有価証券と関係会社株式が101百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ、244百万円増加し5,913百万円となりました。これは、主に賞与支給が第2四半期になるため賞与引当金が167百万円増加し、その他流動負債が163百万円増加しましたが、未払法人税等が256百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、121百万円減少し16,008百万円となりました。これは主に第1四半期純利益が69百万円計上されましたが、剰余金の配当を199百万円実施したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.0%減少し69.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、東日本大震災による各セグメントの売上への影響を見定めている最中であり、現時点では公表を控えさせて頂き、見通しが立ち次第速やかに公表させて頂きます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,229,198	7,501,101
受取手形及び売掛金	2,439,858	2,361,436
商品	27,143	23,829
貯蔵品	89,764	106,363
繰延税金資産	127,007	179,035
その他	321,183	474,708
貸倒引当金	△21,483	△12,055
流動資産合計	10,212,671	10,634,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	324,085	314,208
船舶(純額)	4,968,449	4,753,443
土地	1,311,489	1,311,489
その他(純額)	40,457	65,280
有形固定資産合計	6,644,481	6,444,421
無形固定資産		
	19,917	43,683
投資その他の資産		
投資有価証券	1,386,716	1,361,729
関係会社株式	1,741,850	1,664,876
繰延税金資産	268,427	286,301
その他	1,573,410	1,534,325
貸倒引当金	△48,298	△47,750
投資その他の資産合計	4,922,106	4,799,482
固定資産合計	11,586,506	11,287,587
資産合計	21,799,178	21,922,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	839,549	1,000,508
短期借入金	1,656,537	1,670,336
未払法人税等	397,005	140,130
役員賞与引当金	40,000	8,750
賞与引当金	219,698	386,876
その他	147,654	310,708
流動負債合計	3,300,445	3,517,310
固定負債		
長期借入金	137,871	130,371
退職給付引当金	1,199,437	1,198,747
役員退職慰労引当金	394,002	400,740
特別修繕引当金	353,601	366,476
繰延税金負債	166,881	164,913
資産除去債務	20,781	20,797
負ののれん	94,841	91,402
その他	1,302	22,551
固定負債合計	2,368,718	2,395,999
負債合計	5,669,164	5,913,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	15,097,863	14,968,220
自己株式	△38,974	△38,974
株主資本合計	15,634,746	15,505,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,204	△39,896
為替換算調整勘定	△197,892	△186,204
その他の包括利益累計額合計	△222,097	△226,101
少数株主持分	717,364	729,694
純資産合計	16,130,013	16,008,696
負債純資産合計	21,799,178	21,922,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,203,188	2,980,383
売上原価	2,452,550	2,418,605
売上総利益	750,637	561,777
販売費及び一般管理費		
販売費	83,877	67,869
一般管理費	446,017	452,957
販売費及び一般管理費合計	529,894	520,827
営業利益	220,743	40,950
営業外収益		
受取利息	2,692	2,357
受取配当金	40,404	33,761
負ののれん償却額	8,203	3,438
持分法による投資利益	63,921	61,452
その他	10,337	21,689
営業外収益合計	125,560	122,699
営業外費用		
支払利息	7,421	6,859
その他	123	503
営業外費用合計	7,544	7,362
経常利益	338,758	156,287
特別利益		
受取保険金	—	8,179
特別利益合計	—	8,179
特別損失		
投資有価証券評価損	77,347	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,224	—
特別損失合計	82,571	—
税金等調整前四半期純利益	256,187	164,466
法人税、住民税及び事業税	183,577	141,984
法人税等調整額	△127,086	△61,036
法人税等合計	56,490	80,947
少数株主損益調整前四半期純利益	199,696	83,519
少数株主利益	30,384	14,015
四半期純利益	169,311	69,503

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	199,696	83,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,403	△16,034
持分法適用会社に対する持分相当額	△39,087	11,688
その他の包括利益合計	△81,490	△4,346
四半期包括利益	118,205	79,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,807	65,500
少数株主に係る四半期包括利益	29,398	13,672

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,261,365	672,769	269,053	3,203,188	—	3,203,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,640	17,722	1,478	21,840	△21,840	—
計	2,264,005	690,492	270,531	3,225,029	△21,840	3,203,188
セグメント利益	168,660	37,776	14,305	220,743	—	220,743

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,322,250	480,130	178,003	2,980,383	—	2,980,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,890	12,346	1,204	15,440	△15,440	—
計	2,324,140	492,476	179,207	2,995,823	△15,440	2,980,383
セグメント利益又は損失(△)	118,254	△67,683	△9,620	40,950	—	40,950

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。